

NEWS RELEASE

【報道関係各位】



2017 年 4 月 5 日
一般財団法人 日本気象協会

2017 年桜開花予想(第 7 回)

～続々と開花の便りが到着！ 週末にかけて桜前線が東北南部へ～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2017 年 4 月 5 日（水）に日本全国 89 地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想（第 7 回）を発表します。

また、昨年に引き続き、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんだいざくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」（ねおだに うすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想も発表します。さらに、今年は北海道の「新ひだか町」を新たに予想地点として加えています。

開花予想は日本気象協会のコーポレートサイト(<http://www.jwa.or.jp/>)や天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじゃーぴー）』(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて無料で公開します。

(1) 概況

4 月に入り、九州から東海、関東、北陸地方まで桜前線が北上し、まもなく長野県や東北南部へ到達する見込みです。今シーズンの桜前線はかなり遅いペースで進み、宮崎では平年より 9 日遅い 2 日ようやく開花し、観測史上タイの最も遅い開花となりました。静岡では 2 日、大分では 4 日に開花しました。4 月に入ってから開花するのは静岡では 22 年、大分では 29 年ぶりです。

この先 1 週間は、全国的に平年より気温が高く、5 月中旬並みの気温となるところがあるでしょう。しかし、気温は高いものの、週末は曇りや雨の予報です。満開から 1 週間が経過する東京では、日曜日の雨は花散らしの雨となる見込みです。

4 月は、北日本で平年より気温が高くなる予想で、東北北部および北海道では平年並みか早く開花するところがあるでしょう。



2017 年 桜開花予想前線図

● 日本気象協会 長期予報（気温）

気温	4 月	5 月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	高い	平年並か高い	北日本では、4 月の気温の予想が前回予想の「平年並か高い」から「高い」に変わりました。東日本、西日本では「平年並」から「平年並か低い」となったため、広い範囲で予想開花日・満開日が平年よりかなり遅れているところがあります。
東日本	平年並か低い	平年並か高い	
西日本	平年並か低い	高い	

(2) 新年度になり、ようやく春本番の陽気

4 月最初の土曜日は、低気圧の影響を受けて全国的に寒くなりました。近畿から関東では、冷たい雨が降り、2 月並みの気温となりました。3 日から天気は回復し、今週は全国的に春らしい陽気が続いています。3 月に 20 度を超えなかった地点でも、ようやく 20 度を越える日が現れました。

この先、日に日に暖かさが増し、西日本の桜も今週後半から週末には満開となる見込みです。長野県や東北南部からも、まもなく開花の便りが届きそうです。季節のあゆみは一進一退でしたが、4 月に入りようやく本格的な春になりました。ただ、日中の気温は高いものの、朝晩はまだ冷えるところも多いため、夜桜見物をするときは寒さ対策を万全にしましょう。

(3) 桜開花予想のたより（リレートーク）

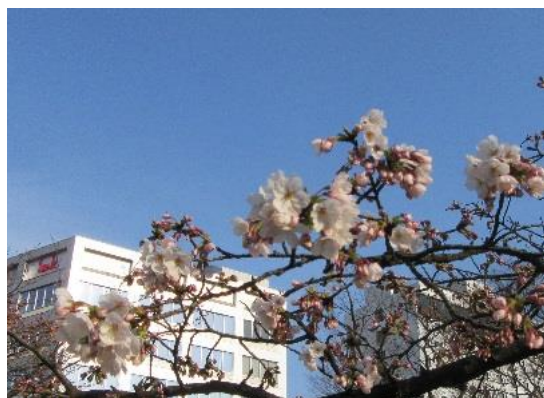
桜開花予想のたより リレートーク



長野地方気象台の標本木です。長野県は南北に長い県です。南部の桜はほころび始め、開花間近ですが、北部の桜は写真の通りです。撮影時のこの雨が催花雨になって、少しでも早い開花を期待したいところです。（4 月 3 日撮影）



日本気象協会
長野支店
気象予報士 浜中 弘樹



富山城近くの「松川べり」です。富山市内を流れる松川沿いは、開花すると多くの花見客で賑わいます。ライトアップで、夜桜も楽しめますし、船に乗って楽しむこともできます。やっと開花した松川べりの桜。今週は気温が高めの予想で、週末にかけて、花が咲きそろってきそうです。（4 月 4 日撮影）



日本気象協会
北陸支店
気象予報士 谷口 聡一





別紙

●各地の桜（ソメイヨシノほか）の2017年予想開花日・予想満開日（4月5日発表）

※平年（昨年）差の「-」は平年（昨年）よりも早く、「+」は平年（昨年）よりも遅いことを表します。
 ※平年値や昨年度値は、気象庁・各自治体や名所の値を用い、平年値のない地点は過去の観測データをもとに算出しました。
 ※満開を観測していない地点と過去の観測の記録がない地点は、予想満開日は発表しません。
 ※長野県伊那市（高遠城址公園）はタカトオコヒガンザクラ、北海道稚内市、留萌市、旭川市、網走市、帯広市、釧路市、浦河町、新ひだか町はエゾヤマザクラ、根室市はチシマザクラ、そのほかの各地はソメイヨシノを対象としています。
 ※予想開花日、予想満開日の（ ）はすでに開花や満開になった地点です。

九州地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
福岡県	福岡市	(3月25日)	+2	+6	4月6日	+5	+7
大分県	大分市	(4月4日)	+11	+7	4月10日	+7	+2
長崎県	長崎市	(3月30日)	+6	+8	4月7日	+4	+8
佐賀県	佐賀市	(3月30日)	+6	+7	4月7日	+4	+7
熊本県	熊本市	(4月1日)	+9	+10	4月7日	+6	+5
宮崎県	宮崎市	(4月2日)	+9	+9	4月8日	+6	+3
宮崎県	都城市（母智丘公園）	(4月1日)	+8	+7	4月8日	+8	+5
鹿児島県	鹿児島市	4月6日	+11	+10	4月12日	+8	+6
気象予報士 コメント	日本気象協会 九州支社 ことしは鹿児島市や宮崎市などで、記録的に遅い桜の開花となっています。今週は暖かい日が続くため、桜が咲きそろう、週末には見頃を迎えるところが多くなりそうです。来週は散りゆく桜を楽しめるころが多くなるでしょう。						

四国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
香川県	高松市	(4月2日)	+5	+7	4月9日	+4	+5
徳島県	徳島市	(4月3日)	+6	+4	4月9日	+4	+1
愛媛県	松山市	(3月30日)	+5	+7	4月7日	+3	+4
愛媛県	宇和島市	(3月25日)	+3	+5	4月6日	+5	+7
高知県	高知市	(3月29日)	+7	+5	4月6日	+7	+4
高知県	宿毛市	(3月28日)	+5	+9	---	---	---
気象予報士 コメント	日本気象協会 四国支店 週末にかけて暖かさが続くため、四国地方では次々と満開の便りが届きそうです。ただし、見ごろを迎える週末は天気が崩れる予想で、花散らしの雨にならないことを期待したいものです。						

中国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
広島県	広島市	(3月27日)	0	+4	4月5日	+1	+3
岡山県	岡山市	(4月1日)	+3	+6	4月6日	0	+5
島根県	松江市	(4月1日)	+1	+9	4月6日	-2	+7
鳥取県	鳥取市	(4月2日)	+2	+10	4月7日	0	+7
山口県	下関市	(3月29日)	+2	+1	4月6日	+1	+3
山口県	岩国市 (錦帯橋・吉香公園)	(3月31日)	+4	+7	4月6日	+1	+4
気象予報士 コメント	日本気象協会 中国支店 気温の高い日が続く、各地の桜はこれまでの遅れを取り戻すかのように、開花を急いでいます。このあとは曇りや雨の日が多くなりますが、引き続き気温が高く、入学式のころまでには山陽・山陰ともに満開を迎えるでしょう。						

近畿地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
大阪府	大阪市	(3月30日)	+2	+7	4月7日	+2	+6

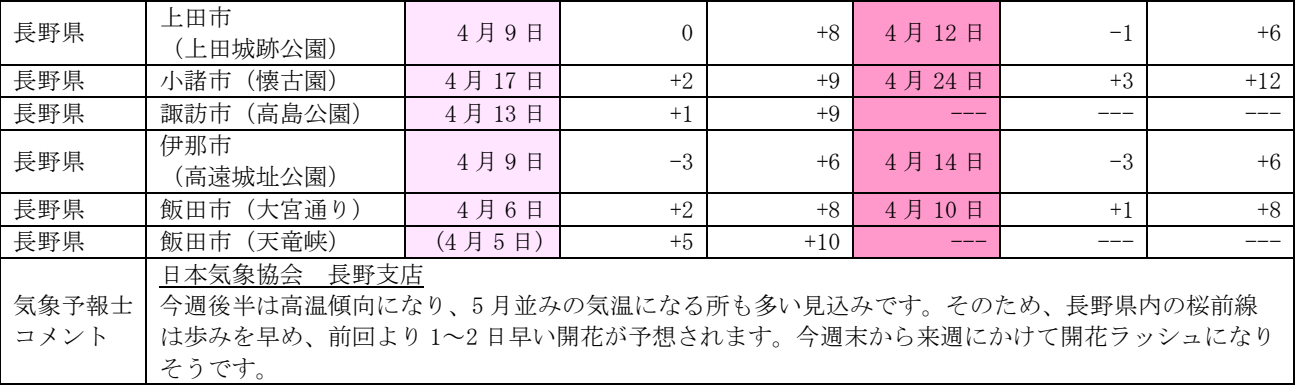


滋賀県	彦根市	(4月5日)	+3	+6	4月10日	+1	+5
京都府	京都市	(3月31日)	+3	+8	4月8日	+3	+6
兵庫県	神戸市	(4月3日)	+6	+8	4月9日	+4	+6
兵庫県	姫路市（姫路城）	(4月2日)	+4	+9	4月9日	+2	+6
奈良県	奈良市	(4月3日)	+5	+11	4月9日	+4	+7
和歌山県	和歌山市	(3月30日)	+4	+8	4月7日	+3	+7
気象予報士 コメント	日本気象協会 関西支社 近畿地方では、この先暖かい日が多く、満開に向けて順調に咲き進むでしょう。ただ、週末は天気が崩れるため、満開を待たずに早めのお花見がオススメです。						

東海地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
愛知県	名古屋市	(3月28日)	+2	+9	4月6日	+3	+6
静岡県	静岡市	(4月2日)	+8	+6	4月9日	+6	+4
静岡県	浜松市（浜松城公園）	(3月31日)	+4	+3	4月7日	+3	+4
岐阜県	岐阜市	(3月28日)	+2	+8	(4月4日)	0	+4
岐阜県	高山市	4月16日	+1	+10	4月21日	+1	+8
三重県	津市	(4月3日)	+4	+6	4月9日	+4	+7
気象予報士 コメント	日本気象協会 中部支社 桜が満開になるのを待ち望んで、一足先にお花見を楽しんだ方もいることでしょう。多くのところで今週末には満開を迎え、桜色に染まります。ただ、天気がぐずつきそうですので、最新の予報をご確認ください。						

関東地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
東京都	東京都心	(3月21日)	-5	0	(4月2日)	-1	+2
東京都	八王子市	(3月28日)	0	+6	---	---	---
茨城県	水戸市	(4月3日)	+1	+6	4月8日	0	+2
栃木県	宇都宮市	(4月3日)	+2	+6	4月8日	0	+4
群馬県	前橋市	(4月2日)	+2	+10	4月7日	+1	+6
埼玉県	熊谷市	(3月28日)	-1	+5	4月6日	+1	+5
埼玉県	さいたま市 (大宮公園)	(3月22日)	-4	0	---	---	---
千葉県	銚子市	(4月1日)	+1	0	4月8日	0	+2
神奈川県	横浜市	(3月25日)	-1	+2	4月6日	+3	+4
神奈川県	小田原市 (小田原城址公園)	(3月24日)	-2	+1	4月8日	+5	+4
東京都	八丈島 (八丈植物公園)	4月7日	+7	+4	4月15日	+6	+7
気象予報士 コメント	日本気象協会 本社 東京では2日に満開を迎えました。この日、標本木のある靖国神社、皇居周辺、代々木公園などのお花見スポットでは、大勢のお花見客で賑わっていました。この先も気温の高い日が続くため、4月に入って開花した水戸や宇都宮、銚子などでは今週末に満開となる見込みです。						

甲信地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
山梨県	甲府市	(3月30日)	+3	+7	4月6日	+3	+3
長野県	長野市	4月12日	-1	+9	4月17日	0	+9
長野県	大町市 (大町山岳博物館)	4月18日	-1	+8	4月26日	+4	+10
長野県	飯山市 (飯山城址公園)	4月16日	-1	+6	---	---	---
長野県	松本市（松本城）	4月9日	-1	+8	4月15日	0	+9

[illegible]



北海道地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
北海道	札幌市	5月1日	-2	+6	5月6日	-1	+5
北海道	稚内市	5月13日	-1	0	5月17日	0	+2
北海道	留萌市	5月7日	-2	+2	5月12日	-1	+3
北海道	旭川市	5月5日	0	+2	5月7日	0	+3
北海道	倶知安町	5月9日	0	+3	5月14日	+1	+6
北海道	網走市	5月13日	+2	+5	5月15日	+1	+5
北海道	帯広市	5月3日	-1	+3	5月6日	-1	+3
北海道	釧路市	5月16日	-1	+6	5月20日	0	+7
北海道	根室市	5月20日	+2	+7	5月25日	+1	+7
北海道	室蘭市	5月4日	-2	+9	5月9日	-2	+7
北海道	浦河町	5月10日	0	+7	5月15日	+2	+9
北海道	函館市	4月29日	-1	+5	5月3日	-1	+7
北海道	松前町(松前公園)	4月27日	-1	+5	---	---	---
北海道	新ひだか町 (二十間道路)	5月7日	+2	+9	5月9日	0	+8
気象予報士 コメント	<u>日本気象協会 北海道支社</u> 道内からは積雪がすっかりとなくなった街が次々と出てきています。足元や花壇に目をやると、ふきのとうやつぼみが色づいたクロッカスなどの植物が見られるようになってきました。桜も順調に生長を続け平年並みに開花しそうです。						

【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

かなり早い：平年よりも7日以上早い

早い：平年よりも3日から6日早い

平年並：平年との差が2日以内

遅い：平年よりも3日から6日遅い

かなり遅い：平年よりも7日以上遅い

●日本三大桜 開花予想

	都道府県	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
三春滝桜	福島県	三春町	4月13日	---	+9	4月17日	---	+7
山高神代桜	山梨県	北杜市	(4月4日)	---	+6	4月9日	---	+8
根尾谷淡墨桜	岐阜県	本巣市	(4月4日)	---	+7	4月11日	---	+8

※日本三大桜は平年値なし

【日本三大桜について】

日本三大桜は、福島県三春町の「三春滝桜」(ベニシダレザクラ)、山梨県北杜市の「山高神代桜」(エドヒガンザクラ)、岐阜県本巣市の「根尾谷 淡墨桜」(エドヒガンザクラ)を指します。いずれの桜も、大正11年(1922年)に国の天然記念物に指定されています。樹齢が1000年以上で、幹回りが9メートル以上あります。

日本三大桜の開花予想作成にあたり、地元自治体やお寺の住職の方々のご同意を得て、過去の長年にわたる開花日や満開日の観測データを使わせていただき、それぞれの桜の開花日や満開日に関する独自の予測式を作成しました。開花時期には日本気象協会の気象予測を用い、地元自治体やお寺の住職の方々のご協力も得ながら、精度の良い開花予測を提供します。

日本気象協会は企業メッセージ「ハーモナビリティ」の考えのもと、“お天気コンシェルジュ”として、日々の生活に役立つ気象情報や防災情報、四季の変化を楽しむ季節情報などを提供することで、利用者の生活を豊かにする新しい価値を届けていきます。



2017 年 桜開花予想に関するよくあるご質問

日本気象協会の桜開花予想について、よくあるご質問をまとめました。

Q1：桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1：第1回は2月8日(水)、第2回は3月1日(水)、以降、3月から4月下旬まで毎週水曜日に発表します。
2月中は【〇月〇日頃】として開花時期の傾向を発表し、3月以降は【開花日〇月〇日】【満開日〇月〇日】の形で発表します。

Q2：日本気象協会の開花予想の特徴は？

A2：各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

Q3：開花日・満開日の基準は？

A3：気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q4：予想する地点数は？

A4：2月中に発表する開花時期の傾向は48地点、3月以降に発表する開花日・満開日予想は全国で約90地点を発表します。予想地点約90地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点を対象としています。
また、昨年から日本三大桜の3地点を加えています。

Q5：日本気象協会の桜開花予想の手法は？

A5：独自手法を用いて開花予想をおこなっています。独自手法とは、花芽の生育過程に大きな影響を与える、秋以降の気温経過に重点を置いた独自の予測式を用いるものです。

2016年の桜開花/満開予想の平均誤差は、開花予想が2.5日、満開予想が2.0日でした。東海・関東地方や北海道の開花直前の気温が予想より高い状態が続き、予想より数日早い開花になったため誤差が生じました。

Q6：開花予想に使うデータは？

A6：①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値（当協会ポイント予報および長期予報）を使用しています。桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽（はなめ）は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます（休眠打破）。休眠から覚めたは、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

Q7：長期予報の「北日本」「東日本」「西日本」の区分はどこ？

A7：気象庁が用いる範囲の通りです。北日本には北海道と東北地方、東日本には関東甲信・北陸・東海地方、西日本には近畿・中国・四国・九州北部地方・九州南部が含まれます。

Q8：開花予想はどこで見られる？

A8：日本気象協会のコーポレートサイト(<http://www.jwa.or.jp/>)、ならびに

tenki.jp(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)、でご利用いただけます。tenki.jpでは、開花（満開）の予測だけでなく、3月以降は、全国のお花見ポイントの実況や見どころ情報も提供します。

以上